

# 協働通信

『協働通信』は、「那覇市協働によるまちづくり推進協議会 ～なほおせっかいワクワク隊～」の行う事業の一環として発行しています

## ★ 校区まちづくりを考えるゆんたく会 第2弾 ★



銘苅 春雄 会長



知念 忠彦さんワークショップ全体進行



宮道 喜一さんアイスブレイク



1分間校区紹介



佐久川 伊弘さん全体司会



大浅田 均副会長 閉会挨拶



城間 幹子市長も一緒に

校区まちづくりを考えるゆんたく会  
第2弾 詳細は、2～4ページにもござ  
います♪ ぜひ、ご覧くださいませ<(\_ \_)>



運営委員会の皆様と ^^



那覇市まち協の皆様も♪





# ★ 校区まちづくりを考えるゆんたく会 ★

- ・地域をまきこんでパトロールしたい
- ・環境美化 (安心・安全)
- ・地域の防災訓練
- ・地域住民の健康促進 (独居老人)
- ・高齢者の食事を普及 (流動食ではなく見栄えのする食事)



- ① 協働大使の連絡網(住所・氏名・TEL)
- ② 高齢者の見守り (生き甲斐づくり)
- ③ 地域での「ゆんたく会」する機会作り (地域の特色や課題が見える)



- ・ヤングママの支援 (17才で若年出産)
- ・学校、登下校あいさつ(子どもたちの見守り)
- いってらっしゃい! 声掛け
- 見えない声を聴きたい一声運動
- ⇒ 多言語で中国・韓国・英語
- ・運動・食事・健康・etc. 日常生活の知恵
- ・防災運動会がしたい!!
- 簡易トイレの組み立てを競う 組立ベッド...
- 子どもたちが楽しんでいる、2歳児。
- 100円防災グッズ多品種有り!!
- おもちゃ・小さな商品・景品⇒小さな子供の参

# ★ 校区まちづくりを考えるゆんたく会! ★ 第71号 平成30年11月15日 (3)

前回に引き続き、身近な地域でこれからできる・もしくは既存の校区まちづくり協議会に対して「何ができるか」「何をしてみたいか」等、協働大使の皆さまが、改めて地域の皆さんとつながり、笑顔でゆんたくしたグループワークの様子をご紹介します<(\_ \_)>



- 〈安里〉地域包括支援センターの主催で月1回、第4金に体操とカラオケ集いがある。
- ・〈天久小区〉毎日本体操(土日除く)、まち歩き、食事
  - ・〈曙願寿会〉ラジオ体操・歌・避難訓練・協力
  - ・地縁組織と関わりのない人とのつながり
  - ・企業とのつながりをつくりたい。宣伝・広告
  - ・役所の人動いてほしい(公園の草刈りの件)

## 〈期待したいこと〉

- ・地域と手を結ぶことが大事
- ・地域にもっとランを広げてほしい

## 〈何ができるのか?〉

- ・民生委員としてお年寄りが外で活動できるように取り組む

## 〈何がしたいのか?〉

- ・ランの着生を個人の家庭まで広げたい。全沖縄に広げる
- ・銘苅小学校区として、新都心でなはまつりを全体で行いたい
- 地域の情報が得られないので行政からも提供をお願いしたい



## 本庁地区6名

### 〈期待したいこと〉

- ・健康長寿の為の対策(ラジオ体操を通じて)

### 〈何ができるのか?〉

- ・各地の色々な部会で人材バンクを活かせる活動をしていく

### 〈何がしたいのか?〉

- 緑が丘公園(集会所)
- ・三世代で遊べる地域づくり
- ・高齢者の食事を普及(流動食ではなく見栄えのする食事)





# ★ 校区まちづくりを考えるゆんたく会2★



### 〈期待したいこと〉

- ・健康づくりを進めたい
- ・地域の人達が集まるようなイベント
- ・那覇小の立ち上げ?と協働大使との繋がり

### 〈何が出来るのか?〉

- ・声掛けをして、仲間を集める・人の和つながり
- 大人⇄大人 子ども⇄大人 企業⇄地域

### 〈何がしたいのか?〉

- ・那覇小まち協立ち上げたい! ・人づくり (人材)

### 〈期待していること〉

- ・コミュニティプラザが出来る
- ・公園を利用して公民館を作って

### 〈何が出来るのか?〉

- ・人材バンクの協力・青年会 (仲井真)
- ・老人会 (仲井真)
- ・ゆるやかにしたい (活動) ←マイナス引き算



### 〈期待したいこと〉

- ・お互いさまの気持ち ・みんなが助け合う
- ・子ども達と学校への支援 ・環境美化
- ・教職員も地域の一員・地域のパトロール (ウォーキング)
- ・フラワーポット事業 (水やりの際の声掛け・ポンプから水かけも)
- ・地域おこし (運動会)・子ども見守り隊 (お年寄り宅へ)
- ・子どもボランティア (行事を通してみんなと結ぶ)



# 小禄南小学校区まちづくり協議会 設立

私達、小禄南小学校区まちづくり協議会は、去る十月十二日 市内八番目の組織として初声を上げるよろこびを得ました。「ゆたく うにげーさびら。」私達の仲間は、小禄南小学校の若々しいPTAのエネルギーと地域の英智と抱擁力の伝え手の方々が、がちり「四つつ」に組んで、一人一人の存在を大事にとらえ乍(なが)ら進んでゆこうと確認し合っています。

小禄地域は、教育力も高く、伝統を重んじ仲間を大切にする「熱い」情熱とに溢れた絆をしっかりと結べる一面と、地域に刺激を与えるエネルギーを、まだまだ掴み切れていない「もったいない」一面を併せ持つ、おもしろく魅力ある地域です。そこに「蟻の一穴」があきました。

今年の計画。

- 一、環境美化 (二月予定)。
  - 一、地域防災 いざという時の地域の助け合いを啓発する活動
  - 一、広報活動 協議会の活動を広く発信し課題や情報の共有を図る
- を通してじんわりじんわり認知していただくよう準備を進めています。あせらず 一步一步 地固めしてゆきます。

小禄南小学校区まちづくり協議会 山根 春代 会長



小禄南小学校区まちづくり協議会 設立 H30.10.12



先日の子ども部会では、山城忠信副参事・社協の城間えり子氏をお招きして那覇市の子ども達の現状を知る情報交換の場となりました。今後は、協働大使の皆様も一緒に知恵を絞って学んでいきたいと思っております。詳細は、同封している島村 聡先生講師に子どもたちの為に私たちができること



11月29日(木)19時~  
なは市民協働プラザ2F 会議室①





代表理事 奥平智子 (おくひら さとこ)

理事 池田房枝 (いけだ ふさえ)

## ～協働大使 活動紹介～

皆さん、こんにちは!2016年に協働大使のお仲間に加えていただきました、NPO 法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄と申します。ところで皆さん、『フードバンク』という活動をご存知でしょうか?

フードバンクは、まだ十分食べることがができる「もったいない食品(食品ロス)」などを中心に食品を集め、困窮により食べ物を十分に得ることができない人たちに届ける活動のことをいいます。もう少し細かく説明を加えますと、フードバンクは「寄付食品と困窮者の双方の間での調整役」を担いながら、企業や個人から無償で預かった食品を適切な方法で保管や運搬を行い、食品を必要としている人たちへ無償で分配を行っています。

他にも、企業への活動紹介や協力依頼、いただいた食品のトレーサビリティの報告、SNSやメディアからの取材、イベントでのちらし配布などの広報活動、全国のフードバンク団体との交流等々他にも様々なことがあります。

当初は、とても小さな活動でしたが、事務所の曲がりから始まり、独立した事務所を設け気がつけば12年が経過。ここまで続けてこられたのも、フードバンクが社会にとって必要な活動だと賛同してくれた食品企業の皆さんや個人の皆さん、寄付食品を有効に活用してくれた施設や団体、また個人の皆さん、預かった食品を大事に衛生的に取り扱うことを心がけて動いてくれたボランティアの皆さん・・・ほかにも本当にたくさんの皆さんの協力があつたからこそだと思っております。また、食品の受け取りや分配などすべて無償で行っている活動のため、車の維持費やガソリン代、事務所経費などの費用には、助成金や基金の活用、企業や個人の皆さんから寄付金や会費などで賄ってきました。このような多方面からの協力や協働のお力添えをもって、今日まで活動を続ける事ができた事に心から感謝しています。



高松市にしたいけり分りたて活動がおります!

### その『もったいない』を必要な所に届けます!!

フードバンクの仕組み

食品の寄附

フードバンクの受け取り

食品の配付

もったいない食品とフードバンク

『もったいない食品』を減らして協力になる

寄付して欲しい食べ物とは

しかし、フードバンクの活動そのものに対する公的支援はないため、安定した活動が出来ていない現状は続いています。活動をはじめてからこれまで、食品が必要とされる方々へ200トン程の食品をお届けしてきましたが、社会的にも大きくクローズアップされている沖縄の貧困問題の影響もあり、フードバンクへ食べ物を求める声は高まるばかりです。それに比べ、食品のストックは慢性的に不足している状況が続き、昨今では、連携している他府県のフードバンク団体からお米や様々な食品を譲り受け、輸送費を使って沖縄まで運ぶこともあります。しかし、それでも食品不足が解消されるにはいならず、これまで以上に地域から食品寄付の協力者を募る必要があります。食品の寄付は個人でも行えます。これまでも、お米や缶詰、インスタント食品など期限が残っていて、未開封の食品をたくさん寄付頂きました。よく「缶詰1個でもいいですか?」との問い合わせがありますが、少ない量でもお米一合でも、私たちが大切に預かり必要な方へ届ける事ができます。他にも、職場やグループに呼びかけて、皆で食品を集めるボランティア「フードドライブ」開催も奨励しています。全国的に見て、子供の貧困や困窮世帯が多い沖縄では、これからもフードバンクの必要性はさらに大きくなっていくことが予想されます。皆さまからの善意によって届いた食品が、生活が困難な状況にある方々に届けられ、とても喜ばれていることは、私たちの活動の喜びでもあり活動の励みとなっています。これからも、「誰もがいつでも食べ物も困ることなく笑顔で暮らせる街づくり」に、私たちの小さな市民活動がお役に立てるよう更に励んでいきたいと思っています。どうぞ、これからもフードバンクへのご協力をよろしくお願いいたします。

発行:那覇市協働によるまちづくり推進協議会 那覇市銘苅2-3-1 3階

TEL/FAX 955-2282 MAIL: kyoudoutaisi@gmail.com

ご意見・ご感想等お待ちしております

イラスト:つかやま つよし

